

2024年度業務実績報告書

提出日 2025年 1月 17日

1. 職名・氏名 教授・徳野 淳子

2. 学位 学位 博士, 専門分野 情報科学, 授与機関 北陸先端科学技術大学院大学, 授与年 2005年3月

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 情報基礎演習(1単位) 1年次 3クラス担当
② 内容・ねらい(自由記述) パソコンの基本操作と管理, タイピング, 文書作成, スプレッドシートの活用法, メールマナー, 情報倫理とデータ倫理, 情報セキュリティ, クラウドサービス, 生成AIの利活用方法などを学習する。大学での学習や卒業後の社会生活に必要なICTリテラシーとデータリテラシー(データを読み解き, 適切に活用する能力)の基礎を習得させることがねらいである。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫(自由記述) 本授業は対面を基本としつつ, 学生の事前知識や能力によって作業状況に差が出やすい単元はオンデマンド型で実施し, 対面やZoomで質問を受けるようにした。今年度は, 新たに生成AIの利活用方法や利用上の注意点を学ぶ教材を作成し, ChatGPTを使った演習やその結果をグループで議論する機会を設けた。 また, 昨年度に続き, 一部の単元を除き, 受講に際し情報演習室のパソコンか, 自分のパソコンを使用するかは学生の自由とした。また, 自分のパソコンにOfficeがインストールされていない学生には, Googleドキュメントやスライドを用いて同等の課題に取り組めるように工夫した。この演習は複数教員で担当しているが, クラスによって学習内容に差が生じないように, 担当教員間での調整や, 教材更新に係る作業の取り纏めを行っている。 また, 新入生の大学入学時の情報に関する知識とスキルのレベルを把握し, 今後の情報教育の改善に利用する目的で, IPT(Information Placement Test)を実施した。
① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 情報科学I(1単位) 1年次
② 内容・ねらい(自由記述) 以下の項目について学習し, 情報社会を生きる上で必要な知識と思考を習得させることがねらいである。 (1) 情報社会で起きている変化 (2) 情報倫理, 情報を扱ううえでの留意事項, 情報セキュリティ (3) 情報をクリティカルに読み解く能力(メディアリテラシー) (4) コンピュータのハードウェア・ソフトウェア・ネットワークの仕組みと機能 (5) 社会におけるデータ・AIの利活用, 留意事項
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫(自由記述) 本講義は, 本学で進める「全学数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」の構成科目であることから, 数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムで開発されたリテラシーレベルモデルカリキュラム教材を参考にしている。今年度は生成AIの急速な進化を受け, 教科書を一部改訂した。また, 学生の理解が深まるように, 情報社会を取り巻く法や技術を説明する際は, 身近な事例や最新的话题を取り上げるようにした。 昨年度に続き, 企業の方をゲストスピーカーとしてお招きし, 個人情報保護や著作権, 生成AIやフェイクニュース, 災害時のインターネット活用等について最新的话题や具体的な事例を交えながら講義を行っていただいた。(講義の様子は, 大学のホームページに掲載)

個々の学生の理解度を把握するために、毎回の学習内容に関するお題を出題し、Google フォームを用いて回収した。また、質問や理解不足な点が見られた場合は、次回の授業で解説を行うようにした。LMS には、講義スライドを掲載し、授業外学習を支援した。また、單元ごとに復習テスト（オンラインテスト）を実施し、その都度理解度を確認した。

【ゲストスピーカー：1人】

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
情報科学Ⅱ（1単位） 2年次以上

② 内容・ねらい（自由記述）

情報処理推進機構（IPA）が実施する国家試験「IT パスポート」に準拠し、IT を利活用する全ての社会人に求められる共通の知識を習得させることがねらいである。「情報科学Ⅰ」で学習したコンピュータやネットワークの仕組み、情報倫理やセキュリティ、AI（人工知能）に関する知識を補強しつつ、新たに経営戦略やプロジェクトマネジメントなどの実践的手法について学習する。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）

学生の理解度を高め、「IT パスポート」の取得にもつながるように、毎回、「IT パスポート」の過去問題を解きながら、理解を深められるようにした。学生自身がその場で解答の正誤が確認できるように、また教員も学生の理解度が低い問題を中心に解説できるように、Google フォームを用いて実施した。また、教科書の他、補足説明を加えた授業資料を毎回 LMS に掲載し、学生の復習に利用できるようにした。

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
情報処理基礎演習（1単位）1～4年次 2クラス担当

② 内容・ねらい（自由記述）

専門教育に応用できるデータリテラシーを習得させることがねらいである。主に、Excel の基本操作、表計算、グラフ表現、関数の利用、基本統計量の計算と理解、データベースの操作、集計処理について学習する。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）

この科目を担当する教員らで作成した教科書を用いて授業を行っているが、この科目は、「全学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」の構成科目であることから、モデルカリキュラムやコンソーシアムの教材も取り入れながら進めている。今年度も昨年度に続き、企業の方をゲストスピーカーとしてお招きし、データの可視化や読み解きに関して、実践的な演習を行っている。ゲストスピーカー講義は自身が担当する2クラスの他、全体のコーディネートを担当した。

この演習は、例年学生の事前知識や能力によって作業進捗に差が見られる。自分で演習が進められる学生はオンデマンドで、不慣れな学生には質問の時間が多くとれるように、対面／Zoom／オンデマンドの3形態で実施し、各受講生が受講しやすい方法で受講できるようにした。

【ゲストスピーカー：1人】

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
メディア情報処理概論（2単位） 1～4年次

② 内容・ねらい（自由記述）

私たちがコミュニケーションで用いる言語や文字、画像等をコンピュータで表現、処理するためのメディア情報処理技術について学習する。AI（人工知能）の歴史や応用分野、機械学習・深層学習の基礎を理解し、その応用技術やツールなど身近な技術への関心を高めてもらうことがねらいである。

<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）</p> <p>この科目は「全学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）」の構成科目である為、モデルカリキュラムを参考に授業を行っている。今年度は、昨年度に比べ、生成 AI の単元の割合を増やした。昨年に続き、対面授業を Zoom で配信するハイフレックス型で実施し、BYOD 形式で実施した。学生が終始講義に集中できるように、PC を使った演習や各箇所学生に問いかけながら授業を進めた。問いに対する学生の回答は、LMS を用いてその場で確認した。また、単元毎に授業内外で課題レポートを出題し、その都度理解度を確認した。</p>
<p>(2)その他の教育活動</p>
<p>① 担当科目名（単位数） 福井大学で非常勤講師を担当 地域コア I 「メディアリテラシー」（2 単位）</p>
<p>② 内容・ねらい（自由記述）</p> <p>メディアリテラシーの基本的な考えやメディアとしてのインターネットの特性を学習し、情報を主体的に吟味し、批判的に読み解くための能力を身につける。また、大学生に身近な事例や医療現場で起きているソーシャルメディアを取り巻く問題などを取り上げながら、情報の取り扱いとインターネットで情報を発信する際のルールとマナーを身に付ける。</p>
<p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）</p> <p>広告や CM, ニュース番組や新聞, 電子メールやソーシャルメディア, フェイクニュース, 生成 AI など、身近なメディアやそれを取り巻く問題を取り上げながら、学生が興味を持てるよう工夫した。</p>
<p>④ 本学における業務との関連性（自由記述）</p> <p>本学で担当している「情報科学 I」をはじめとする情報教育にも強く関連する科目であり、本講義を行うことで、他の授業の改善にもつながっている。</p>

4. 研究業績

<p>(1)研究業績の公表</p>
<p>①著書</p> <p style="text-align: right;">【 0 本】</p>
<p>② 学術論文（査読あり）</p> <p>徳野淳子：「大学新入生の情報分野の知識・技能の習得状況に関する 4 年間の調査」, 福井県立大学論集, 第 61 号, pp.55-67, 2024 年 11 月</p> <p style="text-align: right;">【 1 本】</p>
<p>③ その他論文（査読なし）</p> <p style="text-align: right;">【 0 本】</p>
<p>④ 学会発表等</p> <p>1. 徳野淳子：大学新入生を対象とした情報プレースメントテストの経年分析, 情報処理学会第 86 回全国大会, 2024 年 3 月 15 日（再掲）</p> <p style="text-align: right;">【 1 件】</p>
<p>⑤ その他の公表実績</p> <p>1. 徳野淳子：数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム 第 2 回北信越ブロック会議, リテラシー認定校とリテラシープラス選定校による経験談の紹介 事例紹介①, 2024 年 2 月 14 日（再掲）</p> <p>2. 田中洋一, 杉原一臣, 徳野淳子「数理・データサイエンス・AI 等教育プログラムの実践事例と今後の課題」主催：仁愛女子短期大学, 福井工業大学, 指定討論者を担当, 2024 年 3 月 21 日</p> <p style="text-align: right;">【 2 件】</p>

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
<ol style="list-style-type: none"> 2023～2025 年度，文部科学省科学研究費補助金基盤研究 B（課題番号 23K25704，研究分担者），「一般情報教育のデジタルトランスフォーメーション（DX）」 2024～2026 年度，文部科学省科学研究費補助金基盤研究 C（課題番号 24K06286，研究代表者），「一般情報教育のカリキュラム設計を目的とした正課内外の活動に基づく学生の類型化」
(3)特許等取得
(4)学会活動等
<p>情報処理学会「一般情報教育委員会」委員（2017 年 4 月～現在）</p> <p>情報処理学会 コンピュータと教育研究会 177 回研究発表会 福井県国際交流会館（2024 年 12 月 7 日，8 日）現地準備担当</p>

5. 地域・社会貢献活動

<ul style="list-style-type: none"> 福井市DX推進会議委員（2022 年 10 月 7 日～2027 年 3 月 31 日） 福井県産業情報センター 令和 5 年度外部評価委員会委員（2021 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日） 福井県立病院 「医療現場における個人情報保護」研修会講師（2024 年 9 月 30 日）

6. 大学運営への参画

(1)補職
情報センター副センター長
(2)委員会・チーム活動
<ul style="list-style-type: none"> 部局長会議 教育研究委員会委員 情報教育・DX 委員会委員
(3)学内行事への参加
<ul style="list-style-type: none"> 令和 6 年度情報セキュリティ研修（2024 年 9 月 7 日） 教員の研究をサポートする生成 AI 活用セミナー（2024 年 12 月 13 日）
(4)その他，自発的活動など
<ul style="list-style-type: none"> 「全学数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」の設計・推進，自己点検，情報発信，文部科学省認定制度への申請の取り纏めを担当（2024 年度文部科学省認定プログラム（応用基礎レベル）に認定） 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアムが開催する各ブロックのシンポジウムへの参加，最新の動向や事例等の情報収集 学生・教職員の ICT サポート，質問対応 情報センター非常勤講師担当科目の窓口対応 ホームページの管理・情報発信（履修ガイダンス，情報システムに関する FAQ サイト等の管理）